

11月10日（月曜日）保幼小連携・接続研修会

○保幼小連携・接続のための相互理解○

子どもの主体的な活動を支えるために「やってみたい」「知りたい」「できるようになりたい」を大事にすること、「問い」かけることで自ら考え、判断し、行動する経験を積めるようにすることが大切だということを学びました。保幼小接続は、就学前施設職員と小学校教職員が互いの教育観を尊重し合いながら、子どもの育ちをつなげようとする対話の中にあり、互いの視点が混ざり合うことで新たな気付きと実践が生まれるというお話をいただきました。



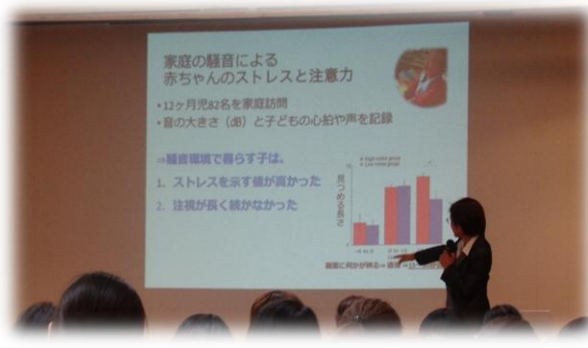
11月11日（火曜日）看護職・養護教諭研修会

○就学前施設における医療的ケア手技○

医療的ケア児の保育、教育について写真や映像やさまざまな事例を交えながらお話していただきました。姿勢と運動の発達と生活機能の獲得について深い関係性があることや、さまざまな医療的ケア（喀痰吸引、バッグバルブ換気等）について、実際に用具を見ながら使い方や注意点等、最新の情報を教えていただきました。

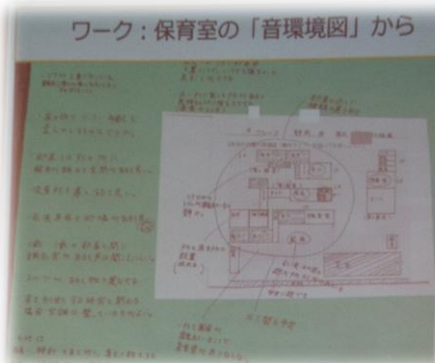


11月17日（月曜日）教育・保育理論研修会



○赤ちゃんの知覚する世界を知る・・・聞こえと援助○

子どもは、雑音の中では話がよく聞こえておらず、いろいろな音の中から聞きたい音を聞き取ること等が苦手なこと、「ちょうど良い音環境」のもたらしめものとして、言葉をじっくりと聞く・話すことができる、意欲が続く、がまんができる、友達の発言を尊重し会話がつながる等、さまざまなお話をいただきました。子どものための音環境創りとして、大きな機械音や常に鳴る機械音を減らすこと、絵本や集中する遊びの「静かな環境」をつくること、吸音材を入れること等を教えていただきました。



11月21日（金曜日）タイムリー研修会



○かんたん！わくわくシアターづくり体験○

講師の先生の講義では、おはなしとは何かということや、『“おはなし”に対して敬意をもち、本質を大切にすること』『子どもを尊重すること』等、保育者に気を付けてほしいことや、さまざまなシアターづくりのアイデア等についてお話していただきました。後半は、手袋や靴下を使用して、実際にかんたんパペットづくりを体験しました。参加者がワクワクした表情でパペットづくりに夢中になって、楽しんでいました。

